



明治6年7月23日開校

～自分の可能性を広げる子に～

福翔

二戸市立福岡小学校 学校だより
発行日 R7. 4. 11
第1号 (文責：筒井裕一)
二戸市福岡字下川又15
電話 0195-23-6155

子どもたちの可能性を広げるために

新しい年度がスタートしました。そこで、子どもたちに関わる我々大人の意識をそろえるために福岡小学校の令和7年度学校経営の方針についてご説明します。今年度のスローガンを以下のようにしました。

令和7年度のスローガン
自分の可能性を広げる子に



1 なぜこのスローガン？

今更言うまでもなく、学校は「子どもたちを幸せにする」ためにあります。

では、「幸せ」とは一体どういう状態のことを指すのでしょうか。生命の危険を感じないこと、自分らしく生活できること、愛情で満たされること、将来に希望をもてることなどなど、その人の価値観やおかれた環境などによって様々な内容が考えられそうです。

そこで我々は、「幸せ」を次のように捉えることにしました。

「幸せ」とは
～社会との良好な関係の下で「なりたい自分である」こと～

これを小学生の子どもに置き換えるとどうなるか。我々はこのように考えます。

小学生にとっての「幸せ」とは
～可能性（潜在的な発展性）に満ちた状態～

「なりたい自分」の姿がまだ明確に定まっていないのが小学校時代です。仮に定まっていたとしても、この先変更になる可能性が高いのが小学生。この後、中学校、高校を経て「なりたい自分」が定まるように、そして大人になったときに「なりたい自分」でいられるように、小学生の頃はたくさんの「可能性」をもっていることが「幸せ」なのだと考えました。そして、子どもの「可能性が広がっていく」ことが、その子の「幸せが増していく」ことなのだと捉えることにしました。

この考えにより、子どもたちが自ら進んで「自分の可能性を広げる子」になってほしいという願いのもと、本校では令和7年度から「可能性を広げる子」の育成に取り組んでいくことにしました。

<裏面につづく>

2 そういう子にどうやって育てる？

「自分の可能性を広げる子」とはどんな子か。それは、つぎの4つの心（がんばる心・がまんの心・関わろうとする心・自分を認める心）をもった子だと我々は考えています。

① 「がんばる心」とは

「どんなにやりたくないことでも、やらなければいけないことは必ずやる」のが「がんばる心」です。「何とかなるさ」という前向きさと「やってみよう」という挑戦の気持ちを引き出すことで、「がんばる心」を育てていきます。

② 「がまんの心」とは

「どんなにやりたいことでも、やってはいけないことは絶対にしない」のが「我慢する心」です。学級・学年などの仲間と一緒にいたいという意識をもとに規範意識をもたせ、「がまんの心」を育てていきます。

③ 「関わろうとする心」とは

「素直に『ありがとう』と言える」のが「関わろうとする心」です。集団の一員であることの心地良さを通して、人と「関わろうとする心」を育てていきます。



④ 「自分を認める心」とは

「自分を大切に思う」のが「自分を認める心」です。自分の良いところの自覚を促し、「自分を認める心」を育てていきます。

これら4つの心を子どもたちに身に付けることで、「自分の可能性を広げる子」に育てていこうと考えています。

今回は、この「自分の可能性を広げる子」と「まなびフェスト2025」の関連性についてお伝えします。

ご覧になりました？ 福岡小学校ホームページ

福岡小学校のホームページ、もうご覧になりましたか？年間行事計画や「まなびフェスト」のほか、「あれ？どこに置いたっけ？」というような文書も、手軽に入手できます。学校ブログも、ほぼ毎日更新中。

アクセスはとっても簡単。スマホで「二戸市立福岡小学校」と検索すれば、右のような画面が出てきます。その「福岡小学校」をクリックするだけ。ぜひ、本校のホームページにアクセスしてみてください。

ココをクリック

